

飯館村を形つくる個性豊かな20行政区を連載で紹介いたします

1区 草野行政区

vol.1

県道原町川俣線(12号線)が区の東西を貫く、村の商業の中心地の一つで、古くから商店街があり、住宅も数多くありました。商店街の近隣に、旧草野小学校、旧草野中学校などもありました。昭和36年には、120戸を焼失する大火を経験しています。

草野地区には旧大館村役場があり、大館村と飯曾村が合併して飯館村となった昭和31年以降は、同地に新しい村役場が建設されるまで、飯館村役場草野事務所として機能しました。村役場は、平成6年1月に現在の場所に移転するまで、草野地区に置かれていました。現在も、公民館(交流センター)「ふれ愛館」や消防分署、駐在所は草野地区にあります。

また事業所数も多く、株式会社菊池製作所の福島第一工場から第七工場なども位置します。



平成29年4月。避難指示解除直後の街並み。



写真は2枚とも渡部区長提供。



文明年間に築かれたと伝わる草野館跡。丘を利用した山城でした。



公共施設や金融機関、商工会などが連なります。(令和7年1月撮影)

草野行政区(1区)

区民数419人(令和8年4月1日現在/住基人口)

かつてはぎっしり家と商店が集まっていた地域でしたが、震災の影響は大きく、多くの商店・住宅が解体されました。住民の減少や高齢化は避けられませんが、区の皆さんと美化活動に取り組み、近隣地域の協力を得て盆踊りなども継続しています。新規のお店が増えて、新たになぎわいが生まれています。将来再び多くの人が住み、皆で祭りを楽しめる、そんな行政区になったらいいですね。



渡部 功 区長



令和



平成

5月中旬にヤマツツジが見頃を迎える「大火山つつじの森」上の写真は令和7年。右は議員OB会の下草刈り(平成27年)。

大火山の今と昔

さまざまな場所や暮らしの変化を見てみよう。

いいたて今昔物語

村政施行70周年



山麓から山頂にかけて広がる牧草地に村営牧場がありました(写真は昭和56年)。左の写真は昭和60年の「大火山牧場フェスティバル」。

大火山(おおひやま・標高825m)にはかつて村営の「大火山牧場」があり、集客力抜群の観光イベントも開催されていました。牧場としての活用を終えた後には、自生するヤマツツジを観光資源として生かそうと、村議会OB会有志が平成16年から整備をスタート。現在は「大火山つつじの森」として、地元の行政区に委託するなどして、村が管理を続けています。また震災後は、中腹に大規模なクロス発電所が建設され、再生可能エネルギーの拠点ともなっています。昭和期に映画「戦国自衛隊」のロケ地となったことでも知られています。

令和8年度の広報いいたては、リニューアルを続行中!新しいコーナーを立ち上げながら、夏にかけてコツコツ紙面をリフレッシュしていきます。新企画もご活用・ご愛読いただければ幸いです。

言葉から「た」を抜けばいろいろなものに早変わり。「たか」は「か」になり、「たからばこ」は「からばこ」に...いたずらたぬきのわんぱく物語をぜひお楽しみください。

おおなり修司・文
丸山誠司・絵 絵本館

大人気絵本『パンどろぼうとスイーツおうじ』シリーズの1つ。スイーツしか食べないわがままなスイーツ王子にどうやってパンを食べてもらおうのか。お決まりのパンどろぼうの変顔もぜひ楽しんでください。

柴田ケイコ KADOKAWA

ふれ愛館だより 交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。